

レクチャー 11.26

大阪でアーツカウンシルを考える会 『考えるための勉強会 Vol.7』

[トップ](#) >> [イベント](#) >> [大阪でアーツカウンシルを考える会『考えるための勉強会 Vol.7』](#)

大阪でアーツカウンシルを考える会+大阪府立江之子島文化芸術創造センター | 学びと情報共有の場
 『考えるための勉強会 Vol.7』
 テーマ「国として取り組むアーツカウンシル」

昨年度は、民間版（アーツサポート関西、大島賛都氏）、沖縄版（杉浦幹男氏）、青森市版（立木祥一郎氏）の各アーツカウンシルの関係者をお招きし、仕組みとその特徴についてお話を伺いました。今年度は、日本のアーツカウンシルの特徴でもある「基礎自治体」を単位にしたアーツカウンシルの可能性について勉強してみたいと思います。

通算7回目となる「考えるための勉強会」は、現在、文化庁文化審議会文化政策部会の部会長を務めておられる熊倉純子さんをお招きし、国として取り組もうとしている日本版アーツカウンシルに望まれる姿と、これからの文化政策についてお話を伺いたいと思います。

日時 | 2015年11月26日（木）19:00～21:00

トーク | 熊倉純子（東京芸術大学音楽環境創造科教授）

入場料 | 寄付制

会場 | enoco2Fルーム8

問合せ | 大阪でアーツカウンシルを考える会事務局

think-ac[at]osaka.arts-npo.org

*[at]を@に変換して送信してください。

【プロフィール】

熊倉純子

東京芸術大学 音楽環境創造科 教授

パリ第十大学卒、慶應義塾大学大学院修了（美学・美術史）。（社）企業メセナ協議会を経て、2002年より現職。アートマネジメントの専門人材を育成し、取手アートプロジェクト（茨城県）、アートアクセスあだち一音まち千住の縁（東京都）など、地域型アートプロジェクトに学生たちと携わりながら、アートと市民社会の関係を模索し、文化政策を提案する。東京都芸術文化評議会文化都市政策部会委員、文化庁文化審議会文化政策部会委員などを歴任。

著書に「アートプロジェクト—芸術と共創する社会」（監修。水曜社、2014）「社会とアートのえんむすび1996-2000——つなぎ手たちの実践」（共編。ドキュメント2000プロジェクト実行委員会発行、トランスアート、2001）、「<地元>の文化カー—地域の未来のつくりかた」（共著、刈谷剛彦編著。河出書房新社、2014）など。

サイトポリシー・
プライバシーポリシー

> enocoについて

> お知らせ・プレスリリース

> 事業紹介

> メルマガ登録

ツイート

指定管理者

> フロアガイド

> ニュースレター

バナー広告募集

> レンタルスペース

> お問い合わせ

> アクセス

